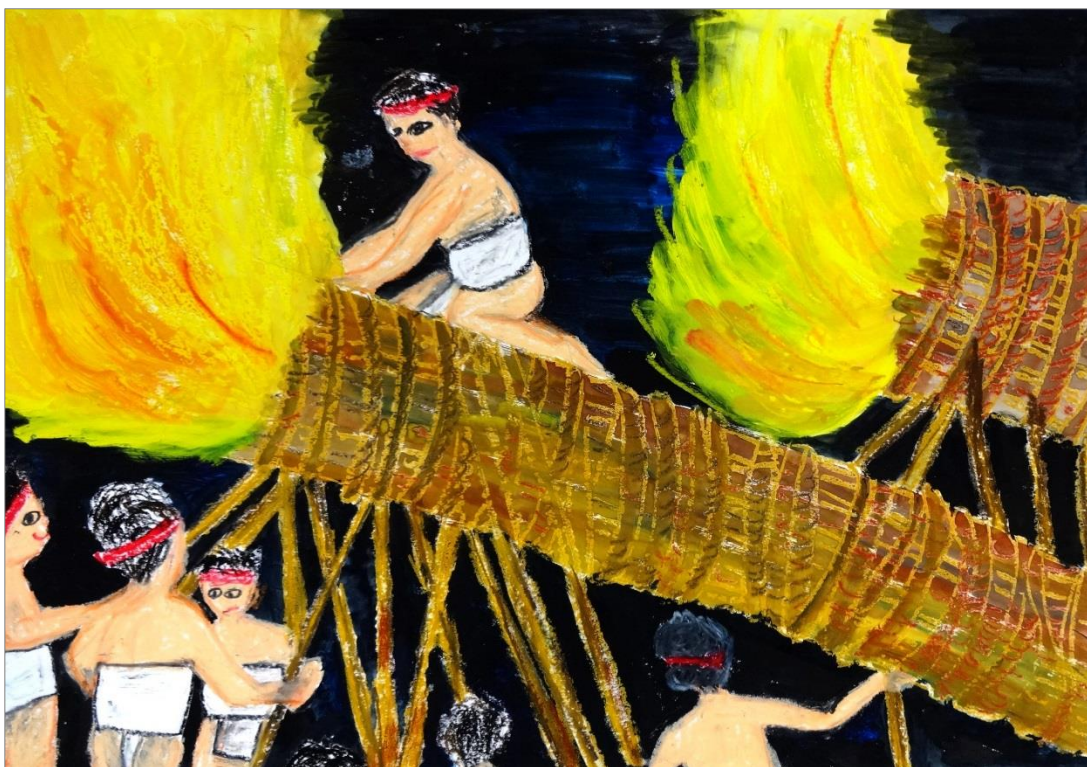


平成28年度 小学生部門

金賞



「玉垂宮の鬼夜」

石井 悠人

福岡教育大学附属久留米小学校

1月7日に行われている日本三大火祭りの1つと言われる鬼夜を見に行きました。大みそかの夜にひうち石でとった鬼火を七日七夜守り続けて、天下泰平、国家安穩、五穀豊穡、家内安全、災難消除の祈願をします。鬼夜は日本一と言われる直径1m、全長13mの大松明が6本あり、それを数百人の裸の男の人達が燃やす火祭りです。落ちてくる大量の火の粉で辺りは明るくなり、体はポカポカになりました。ある程度燃えたら人が登って縄を切ります。その様子を描きました。

銀賞

「大花火と縁の下の力持ち」

石橋 一晟

山川小学校

花火もきれいだったけど、それをかげで支える消防士さんもかっこよかったから描きました。



「まつりだワッショイ」

佐藤 まりあ

西国分小学校

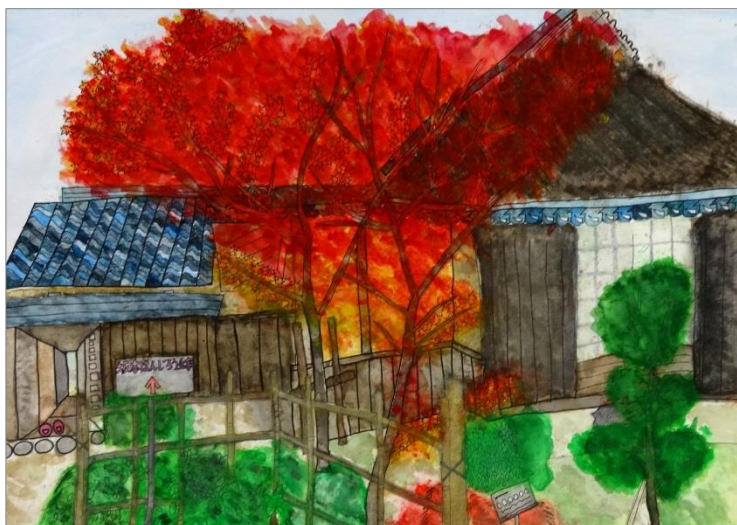
毎年楽しみにしている、水のさいてんの歩行者天国を見に行きました。とってもあついののに、子どもおみこしを元氣良くかついで行っているすがたがすてきでした。遠くに住んでいるお友だちもおまつりのことをよく知っていました。いろんなお店がならんでいて楽しいです。夜までいろんなおどりがあって、楽しいのでみんなにも見に来てほしいと思ってこの絵をかきました。

「坂本はんじろう生家」

江口 莉乃

京町小学校

一学期に総合学習で京町のすてきな場所をさがし、京町の観光リーフレットを作りました。その中でも一番気に入っている坂本はんじろう生家をかきました。理由は、はんじろうさんは画家でした。そして、入口や庭は緑でいっぱい、とてもきれいだったので、この絵をかきました。ポイントは真ん中の紅葉です。真っ赤な紅葉がとてもきれいです。木がたくさんありました。古い建物のかわらも一つ一つがう色でぬりました。いろいろな色をつかってぬりました。

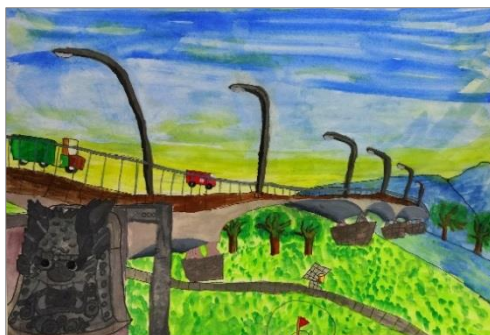


銅賞



いつ行っても花だんの花がとてもきれいだから、ここをえらびました。さんほするのに気持ちいい場所です。

「すてきな花のある場所」
榮前田 柊
長門石小学校



ほかここで作品をかこうと思ったわけは、ここが城島の中で一番心に残っていたからです。工夫した所は、遠近感を出すためにまわりにある物などを近くにかくことです。わけは、ふつうに絵をかくと、たてものの大きさが分からないけど、まわりにある物を近くにかくことによって、かきたいたてものの大きさが分かるからです。そして他には、城島でよく見る有名なおにがわらや、筑後川をかいたり、下田大橋をかいところ です。

「城島町の景色」
筒井 悠里
城島小学校



小学校3年生のときに社会科見学にいて興味をもちました。だから久留米市の風景としてかきました。かくときに工夫したところは、どりの古びている様子と、かわら1枚1枚の色をかえ、ていねいにぬるところを工夫しました。冬にある「鬼夜」に行ったことがないのでこの絵をかいたというきっかけで、行ってみたいと思いました。

「バスと玉垂宮」
首藤 亮
城島小学校



いつもバスの出張から帰ってくる時、久留米駅までお迎えにいきます。パパが帰ってくる久留米駅が大好きだからかきました。

「JR久留米駅」
権藤 大翔
山川小学校



自分はなぜこの絵にしたかという、まどから見た風景がとってもきれいだったからです。くふうしたところは、たんぼの1本1本をていねいにかいたところです。あと、家のこまかいところもかいたところです。

「まどからみた風景」
高村 仁
鳥飼小学校



わたしは、4月にいばらきけんからひっこしてきました。だから、ちくご川の花火大会は、はじめてでした。一番心にのこっているのは、はり絵にかいている大きな大きな花火です。花火の下の銀色のきらきは、川にうつった光です。川のすぐそばで見たので、とても大きくて、川的光もきれいでした。前すんでいたところは、あまり花火があがらなかったの、たくさん花火が見られて、うれしかったです。来年もまた見に行きたいです。

「ちくご川花火大会」
北畑 結有
金丸小学校



筑後川は大きくて、久留米のじまんだからかきました。色を重ねてかいたりしたので、より色を細かくかきました。

「筑後川の風景」

佐々木 祐丞 金丸小学校



かわいいかっぱのおおをしたためるえき。みんながしているかっぱえき。

「田主丸のシンボルかっぱえき」

宮崎 心優 田主丸小学校



くるめしのちくご川はなびたいかいは、1まん8せんぼつのはなびが上がるので、たくさんの人があつまりますごにぎやかで、はなびがきれいだからです。

「はなび」 まきの そうすけ

福岡教育大学附属久留米小学校



田主丸とかっぱのれきしを知ってもらえるといいなあと思いながらかいた絵です。川とかっぱとあけぼのやを大きくかきました。

「かっぱ」

古賀 寛人 田主丸小学校



石橋文化センターの公園が大好きだからです。

「石橋文化センターのペリカン」

内山 絵里 御井小学校



毎年プールに行くのが楽しみで、今年もかぞく全員で行きました。たくさんの方がきて、みんな楽しそうだったので、そのようすをかきました。

「楽しいくるめ市民流水プール」

坂田 愛英 福岡教育大学附属久留米小学校



私は、城島の浜という自分のすんでいる地域の建物をかきました。理由はたくさんの方がイベント、習い事のために出入りしているのを見て、ふれあいセンターがすごい建物のように思ったからです。また、そこに大きな望遠鏡がある天文台をかきたいなと思ったからでもあります。先生の指どいで、かげをつけたり、色を重ねたりして、よりふれあいセンターのようにかけるよこと思いながら色をぬってできたのがこの絵です。浜の運動会(地域運動会)もこのふれあいセンターで行われます。その時も、この絵をかいたなぁ、と思い出してやりたいです。また、このふれあいセンターのイベントにも参加したり、遊んだりして、ふれあいセンターをもっと好きになりたいです。

「私達のふれあいセンター」

中園 実咲 城島小学校

「鬼夜」

福岡教育大学附属久留米小学校

中村 琉輝



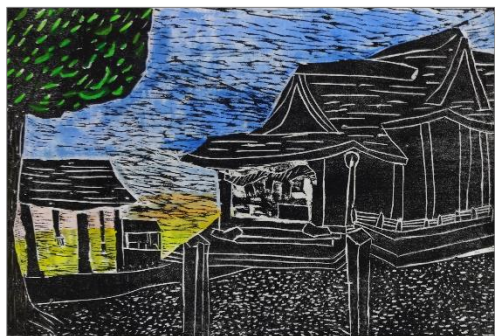
ぼくは、学校で大善寺町にある玉垂宮の鬼夜のことを勉強しました。毎年1月7日の夜に行われる鬼夜はついな祭りの祭りで、大松明6本が境内をまわる火祭り、日本三大火祭の一つと言われています。大松明まわしは、直径1m、全長13mの大松明を、裸の若者たちによって支えられ、火の粉を散らしながら、ゆうそうにまわります。ぼくもいつか、ふんどしをつけて大松明まわしをしたいと思いました。

「夕日に浮かぶ神社」

浮島小学校

幸紀

浮島小学校



この作品は、夕日を背にした浮島の神社を題材にしました。工夫したところは、空の色づかいや、木のみきや屋根に線を付けたところです。

「色とりどりの水天宮」

京町小学校

堀江 月菜

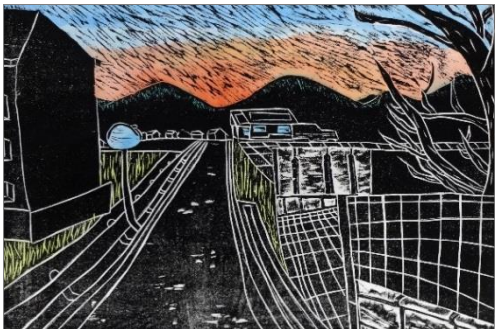


一学期に総合学習で京町のすてきな場所をさがし、京町の観光リーフレットを作りました。その中でも一番気に入っている水天宮をかきました。七五三でおまいりに来る人もいけど、私が一番好きだと思ったのは、水天宮のこつようです。いちじょうの黄色やもみじの赤や、いろんな色が合わさっているのは、とてもきれいだったからです。色をぬるときに工夫したところは、屋根の色です。一つずつ色を変えたり、木の葉の色を変えたりしたところです。絵をかくのは何時間もがんばってかいたので、とてもいい作品が出来ました。

「夕日に染まる浮島の道」

浮島小学校

辻 芽依



山のおくにすむ赤い夕日を表現すると、おくの小さな家をほるところが特に難しかったです。あと、夕日に染まっている感じが出せてよかったです。

「もうすぐこわれるこうしゃ」

京町小学校

河口 陽輝



一学期に総合学習で京町のすてきな場所をさがし、京町の観光リーフレットを作りました。その中でも一番気に入っている学校をかきました。なぜかという、もうすぐ学校が新しくなって古いこうしゃがなくなってしまうから、学校の絵をかきました。古いこうしゃがなくなる前に絵をかきたかったからです。学校の古さを出すために少しくろっぽい色でぬりました。外で遊んでいる人もかきました。この中で一番気に入っている所は、学校のこうしゃの色が一番気に入っています。

「坂本はんじろう」

京町小学校

廣盛 遥南



私は京町小学校の近くにある坂本はんじろうせい家を絵にかきました。なんで坂本はんじろうをかいたかという、坂本はんじろうさんの家はとてもキレイで、ずっと昔からたっているから、坂本はんじろうさんの家の絵をかきました。工夫したところは木の色一まい一まいや、かわらなどの色をかえてかきました。

「うちあげ花火」

福岡教育大学附属久留米小学校

中村 凜汰郎



くるめに花火を見に行ききれいだっで絵にかきました。りゆうは、赤や青のカラフルな花火が黒いお空からおちてきたりした時がきれいだったからです。その光が川にはんしゃしている時もきれいでした。

平成28年度
中学生部門



金賞



「木かげから見る風景」

中村 彩乃

城島中学校

ここは、緑にかこまれた石橋美術館の赤がとても魅力的だなと思ったのでここを描きました。



銀賞

「からくり時計」

島 秀暢

城島中学校

大きいたいこのかたちをしたカラクリ時計がとてもすごいなと思ってかきたくなりました。



H28
中学生



「水天宮」

岩橋 未羽

荒木中学校

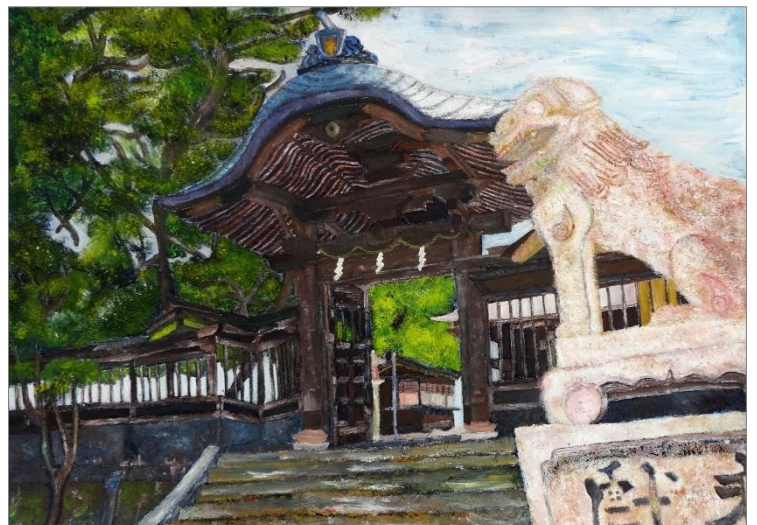
私が久留米市の景観という議題を見て水天宮を描こうと思った理由は、私の成長に深く関わってきた場所だからです。私が生まれたとき、両親が水天宮で「お宮参り」してくれました。また、七五三のときにも家族いっしょに水天宮でお参りをしました。このように、水天宮は私の思い出深い場所であり、その景観を私の視点からみなさんに紹介したく、描こうと決めました。

「水天宮」

田中 夏実

城島中学校

明暗がはっきりしていて、かげのつき方や、建物の古さなどがおもしろいと思いこの場所を描きました。木の葉っぱや、狛犬の色あいなどが不思議で、描いてみたいと思いました。建物の一つ一つのパーツに、色がひきたつように工夫しました。色や影のおもしろさや、建物の奥深さなどがテーマにあっていて、良さが少しでもひきたつように工夫しました。



銅賞

H28
中学生



私がこの道にしたのは、いつも通っていて、なじみがある道だからと、私が好きな場所だからです。なぜ好きな場所かという、近くに一直線の道があって、遠くにはみどりゆたかな山。それに、見ていると自分の心がおだやかになってくるし、自分の心と同じような感じがしてきて、一直線の道が、いろんな道とつながって、未来はどんなことがおこるかかわらないと言っているようで、私はこの道が大好きな理由です。だから、この風景にしました。



何年前かに久留米大学を通った時に、古くて歴史あるこの久留米大学を見て、圧倒されて、この絵を描きました。この場所は全体的に緑に覆われていて、私は緑が好きなので、葉っぱなどを工夫して描きました。今までの絵は建物の形があやふやだったけれど、今回は建物を強調して描きました。そして、全体的に重ね塗りを心がけて、気持ち良く描くことが出来ました。よく見ると右側の葉っぱと、左側の葉っぱの形が違うので、葉の違いを細い筆や指を使って表現しました。私は、昔はお寺や都会の建物などしか描いた事がなかったのですが、自分にとって、大きな建物を描くのは良い経験をしたのかなと思います。これからはもっと難しい絵にも挑戦して、この絵よりも、もっと上手になれるよう、努力していきたいと思っています。



むらさきの花が綺麗な美術館だったのでかきました。

「通学路」
谷口 凜咲

青陵中学校

「久留米大学」
権藤 早咲

城島中学校

「石橋美術館前」
萩尾 瑠乃

城島中学校



私がここを選んだ理由は、小さい頃から遊びに行ったり、自転車の練習に来ていたからです。それと、私のおきに入りの公園だったからです。水ぬまの里公園では、ほかの公園にはないような遊具がたくさんあって、友だちとかとよく遊んでいたから、この絵を描きたいと思いました。

「水ぬまの里公園」
中島 明音

荒木中学校



この絵は、花屋やトンネル、教会がすごく明るいふんいきだったので、描きました。葉っぱや地面など、色使いを明るく、建物など立体的にするのがむずかしかったです。教会や新しい建物は、新しくなるのが大変でした。お寺や神社、古びた建物が塗りやすかったので、新しい建物は、すごく新鮮でむずかしかったです。地面や建物など、重ね塗りをし、色に味を出しました。葉っぱに指でポンポンとおして、良い葉っぱになりました。この絵は、明るいふんいきになるようにオレンジや黄色など、明るくなるように頑張りました。

「西鉄久留米駅」
倉重 沙耶

城島中学校



これは久留米市荒木町にある荒木駅です。私がなぜこの場所を選んだかというと、荒木駅は町の大切な交通手段であり、歴史のある駅だからです。荒木駅は、朝や夕方、通勤する人や外へでかける人たちの交通手段として、たくさんの人たちに使われています。私もでかける時などによく使います。また、荒木駅は戦争中「荒木駅列車襲撃」で、列車が攻撃される事があったのですが、そのような時代をのりこえ、今も電車が走り続けています。そして、私は小さい頃からよく使っていたので、とても思い出のある大切な駅です。このように、荒木町にとって、そして私にとって、とても大切な荒木駅をぜひ描いてみたいと思い、この場所を選びました。

「荒木駅」

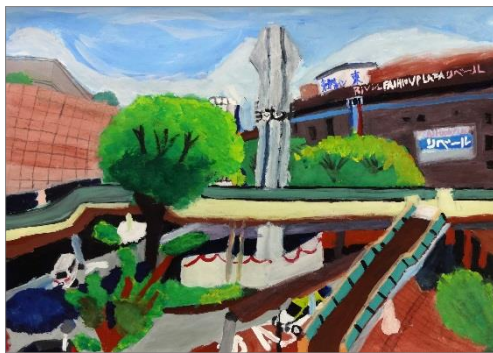
中島 治香

荒木中学校

「西鉄久留米駅」

松尾 真友

城島中学校



ふんいきがとても良く、あざやかだったから、この風景の絵をかきました。

「夏の水天宮」

河口 見優

城島中学校



久留米で有名な水天宮の落ち着いた雰囲気が好きで、この絵を描きました。久留米市景観賞のテーマ「発見！わたしのまちの景観」のように、この絵を描くにあたって、久しぶりに水天宮を訪れ、水天宮の良さを見えたので良かったです。その良さを絵に表しました。

「久留米駅の風景」

古川 己祥

城島中学校



他の駅には無い久留米駅ならではのからくり時計を描いてみたかったからです。また、駅の楽しい雰囲気を表現してみたかったので描きました。

「私の故郷」

久留米信愛女学院中学校

萩原 菜月



これは私の家の近くにある「はげ並木」をかきました。毎年、秋になると約2kmの道が赤く染まります。私は生まれた時からこの景色をみながら育ったので、決して特別なものなんだと感じたことはありませんでした。しかし、私が8月にニュージーランドへ語学研修へ行った時、写真でこの景色を紹介すると、「これは本当に日本で見られるの？」ととても驚かれました。今年も「はげ並木」はきれいに赤く染まりました。今までは特に何とも思わなかったのですが、ニュージーランドでとても驚かされたので、久しぶりに改めて見てみました。そうすると、「あっ、こんなにきれいだったんだ」と改めて感じました。私の故郷の大切な存在であると思いました。そんな景色を私は描きたいと思いました。

「総大理石の石段」

古賀 更紗

荒木中学校



ここは私の生まれた町であり、とても思い出の深い場所です。なのでここを選びました。朝、通学する時にここを通っていました。季節が変わるごとに、木になる葉が変わったりして、とてもきれいな場所で、私のお気に入りの場所でした。ここはとても有名で、この石段をのぼっていったら、地ごめぐりや、慈母観音像を見る事やのぼったりもできます。ここは、とてもいい場所で、みなさんにもぜひよさを知らてもらいたかったから描きました。

「北野天満宮」

高浪 奈々美

北野中学校



私が北野天満宮を描いた理由は、この北野天満宮は北野の人たちが大切にしている場所だからです。北野に住んでいる人なら一度は訪れたことがあり、北野天満宮で毎年ある「おくんち」などでは、たくさんの人でにぎわいます。また、962年前に菅原道真が建てた歴史のある建物です。私は普段、北野天満宮をまじまじと見る機会がなかったけど、絵を描くことで細かい所まで見る事ができ、今まで気づかなかった所をたくさん発見でき、良かったです。この絵を描いたことによって、一段と北野天満宮や私の住んでいる久留米市北野町に愛着を持つことができました。

「橋」

久留米信愛女学院中学校
谷川 涼

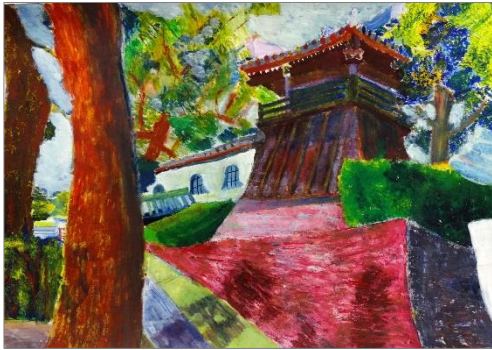


私がこの景観を作品にした理由は「空の青と川の青の2色の青の間に、ドンッとする橋」という景色がとても美しいと思ったからです。私がこの絵を描くときに特に工夫した点は、2点あります。1つ目は「雲」です。雲の中にも、ピンクや黒を混ぜて、立体感が出るように工夫しました。2つ目は「川」です。川の色に濃淡をつけて、ぬり方もてんぬりで描くところを工夫しました。この絵を描く上で難しかったのは橋です。橋の、柱の部分と裏の部分にどうやって濃淡をつけるかや、どんなぬり方でどんな色をつけたらいいのかが分からなくて、橋を描くのはとても難しかったです。



私がJR久留米駅の景観を作品にした理由は、丸いガラスの絵がとてもきれいだった事と、この風景のいろいろな所のかけの入り方がいいと思ったし、普段いろいろな人が使っている駅を描いてみたかったからです。

「JR久留米駅」
重松 さくら 城島中学校



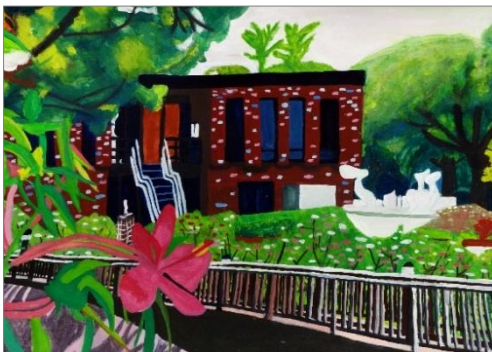
この景観を作品にした理由は、石がさがとても魅力的だと感じたからです。この石がさは、いろいろな色がまざっていて、とてもきれいだと感じたし、この建物の形もおもしろいと感じたので描きました。この石がさの色の魅力を表現するために、色々な色をつかい、表現しました。また、暖色を多くつかうことで、温かさを表現しました。

「梅林寺」
梶原 凜 城島中学校



寺町にはたくさん寺があって、この寺を選んだのは、緑でうめつくされた寺がきれいだったからです。葉っぱの一つ一つの存在感がでるよう工夫しました。

「寺町」
渡邊 乃愛 城島中学校



花や木などの植物がたくさんあって自然が豊かで、お母さんと妹と何回か行ったことがあるから、この場所を選びました。花や木などの植物や建物を一色でぬらなかつたことを工夫しました。

「自然の中の美術館」
境 万央 城島中学校



これは、久留米市草野町の町並みです。草野町は私が生まれるまで、家族が住んでいたところです。この坂道を登っていくと、耳納連山です。この道は父が子供の頃、毎日のように犬の散歩をしていた道で、昔にたてられた大きなおやしきがいっつもあります。私もこの場所につれていってもらいました。その時父が「このおやしきはとても大きくて、はい品回収の時、まちがえて3度も同じ家に行ってしまったことがあるよ。この辺りは父さんが小学生のころと全然変わっていないな」と、なつかしそうに言っていました。その白かべや木の緑、山の緑がとてもあざやかで、心に残り、この景観を選びました。私も、草野町に住んでみたいのです。

「草野町矢作の町並み」
松田 菜月美 久留米信愛女学院中学校



私がこの絵にした理由は、にぎやかだし、楽しそうだったから西鉄久留米駅にしました。そして、さまざまな色や形があつておもしろそうだったからこの絵にした。あと、西鉄久留米駅は私が好きな場所だからという理由もありました。

「西鉄久留米駅」
瀬崎 美琴 城島中学校



噴水ときれいなバラがマッチしていて、とてもいいと思い、この作品を描きました。石橋文化センターといえば、噴水とバラです。私は前から噴水とバラを同じ画用紙に描いてみたいとも思っていました。一番大変だった所はバラです。一枚一枚わかれているから、色の使い方がとても難しかったです。でも、本物のすばらしいバラにちかづけようがんばりました。

「噴水とバラ」
樽海 ひなた 北野中学校